

気候変動による損害と損失リスクをチャンスに転換するために

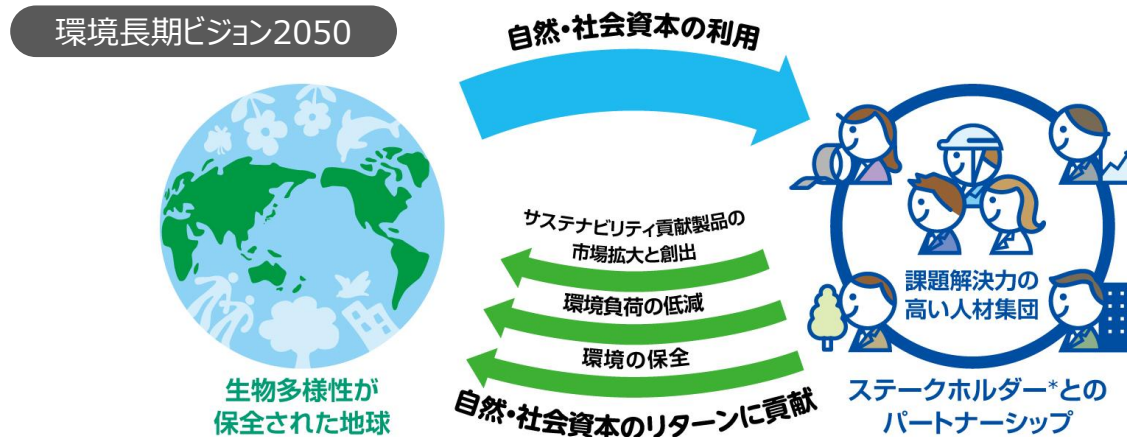
2026年1月20日

(発表10分、質疑応答5分)

積水化学工業株式会社

ESG経営推進部

環境経営グループ 三浦 仁美



*ステークホルダー：「お客様」、「株主」、「従業員」、「取引先」、「地域社会・地球環境」

基本情報

売上高

1兆2,977億
54百万円



営業利益

1,079億
51百万円



グループ企業

155社



従業員数

26,918名

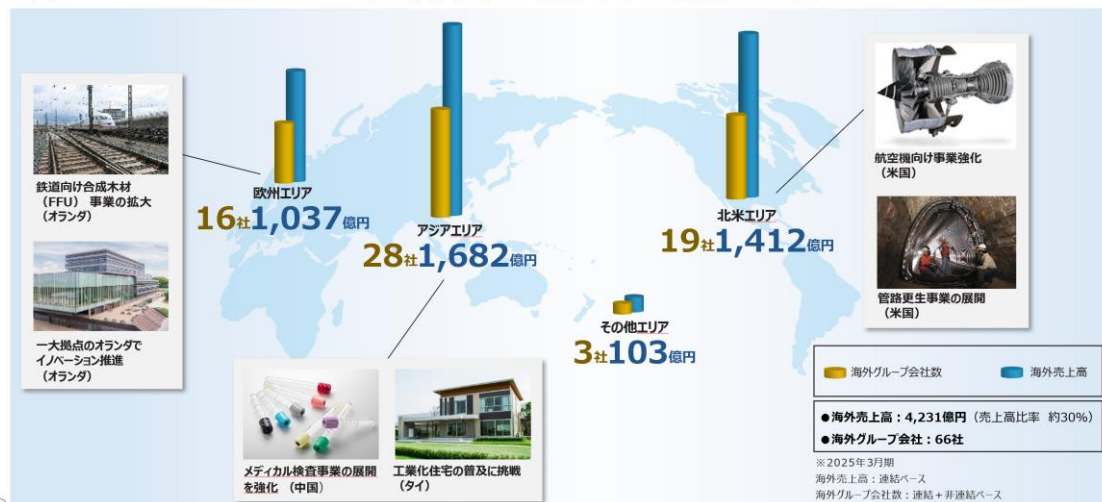


2025年3月期連結ベース
※グループ企業数は連結・非連結ベース

グローバル展開

欧・米・中国・東南アジアに地域統括会社を設置。

長期ビジョン「Vision 2030」では2030年に海外売上高を1兆円にすることを目指しています。



理念体系

社是 - 3S精神

Service

サービス

企業活動を通じて
社会的価値を創造する

Speed

スピード

積水を先人の谷に
決するスピードをもって
市場を変革する

Superiority

スペリオリティ

際立つ技術と品質で
社会からの信頼を
獲得する

グループビジョン

積水化学グループは、際立つ技術と品質により、
「住・社会のインフラ創造」と「ケミカルソリューション」の
フロンティアを開拓し続け、
世界のひとびとの暮らしと地球環境の向上に貢献します。

長期ビジョン

Vision2030

“Innovation for the Earth”

サステナブルな社会の実現に向けて、
LIFEの基盤を支え、“未来につづく安心”を創造します。

リスク分析における物理リスクの影響の再確認



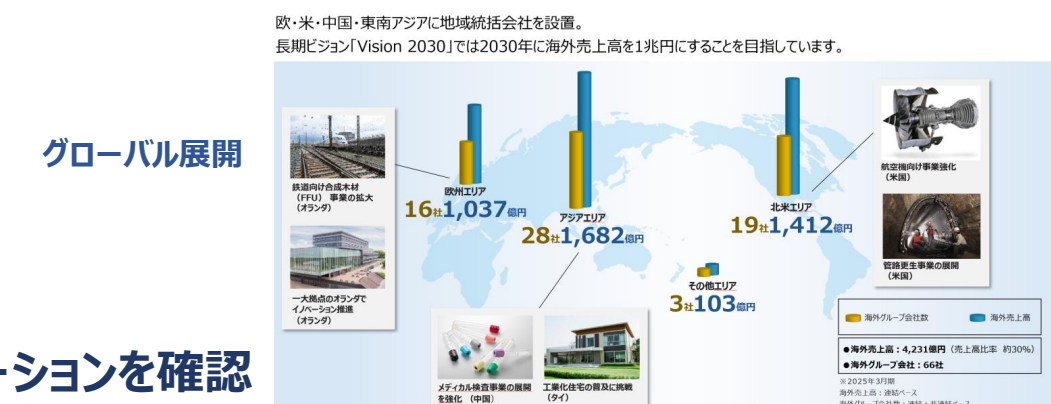
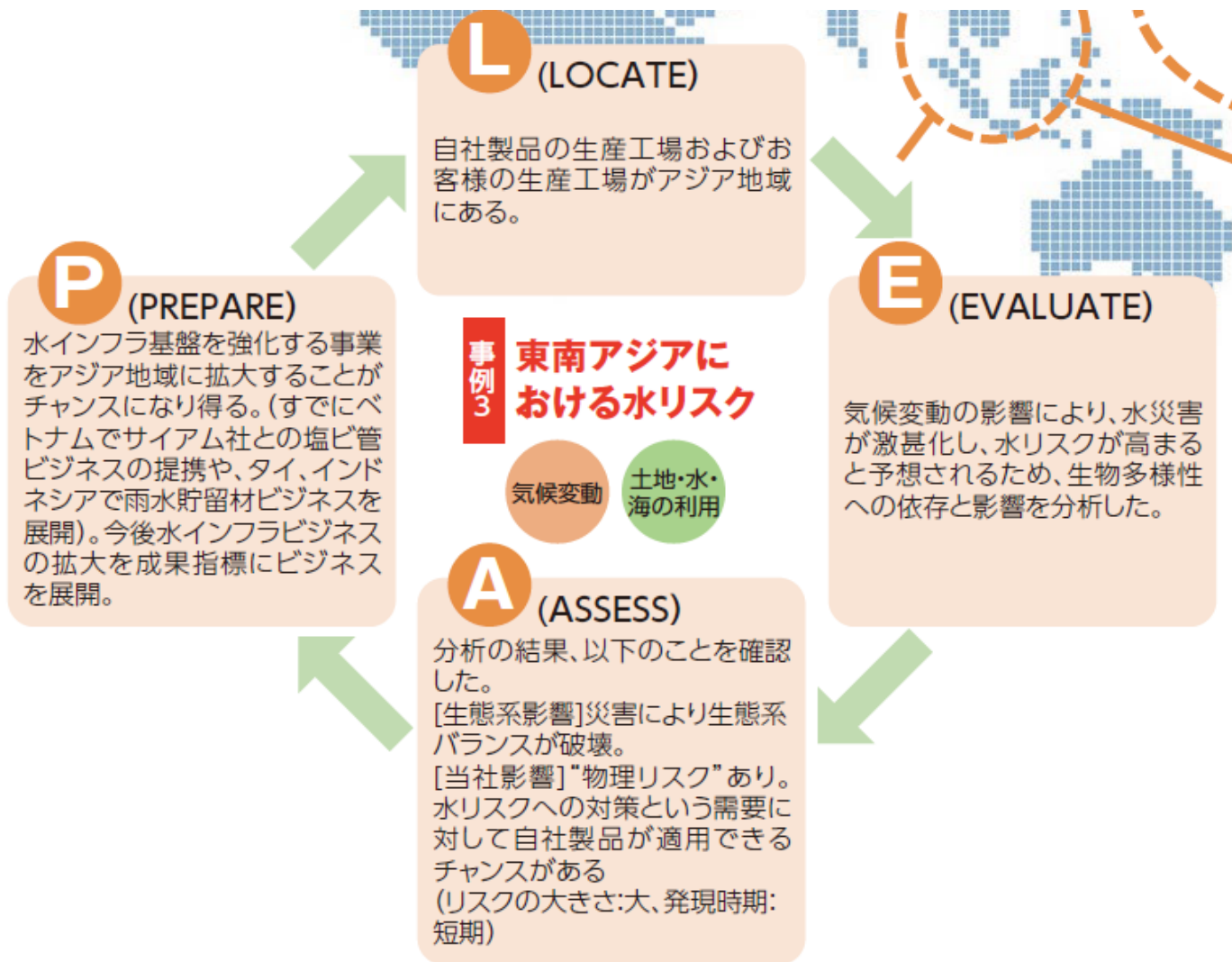
タイプ:1.5℃シナリオ見直しに伴った改定事項 太字:イノベーション関連項目

					環境課題の相関分析				
タイプ	気候変動 リスク項目	財務 影響	事業リスク	事業機会	当社グループの対応	気候 変動	資源 循環	水 リスク	生物 多様性
政策 規制	炭素税 引上げ	大	<中長期> ・エネルギー調達コスト増加 ・製品価格への転嫁による売上減少	<中長期> ・早期対応による差別化で事業機会獲得 ・再生導入によるエネルギーコスト安定化	・「再生エネルギー採用促進策」での社内炭素価格適用による再生エネルギーの加速と社内意識変革 ・SBT認証による社会へのコミットで実効力向上	緩和	—	—	—
	省エネ・ 低炭素 規制	大	<短期> ・省エネ・再生エネルギー対応強化への設備投資増加 <中長期> ・グリーン電力証書等の導入コスト増加	<短期> ・省エネ・省エネ事業の売上拡大 ・CO ₂ 排出規制対応製品の売上拡大	・気候変動対策をきくESG投資枠(400億円/3年)設定 ・新しい創エネ技術開発(例:ペロブスカイト型PV) ・調達基準の適宜見直し ・ZEH住宅の標準仕様化	緩和 緩和	—	—	—
	政策	大	<短期> ・再生エネルギー調達コスト、ゴミ処理コスト増加 <中長期> ・ZEH等低炭素製品の義務化による差別化消失によるシェアの減少 ・資源循環関連の法規制の強化による事業機会の減少	<短期> ・ゴミ焼却時のCO ₂ 削減技術のニーズ拡大 <中長期> ・ZEH競争力によるZEH市場拡大に伴う新築住宅の売上増加 ・自社・業界回収などの水平リサイクル製品の機会拡大	・ゴミからエタノール製造技術の開発と社会実装(BR) ・サステナビリティ貢献製品の拡大 ・自社プラ製品の水平リサイクル拡大検討(例: KYDEX/バイパックスシステムなど) ・住宅製品の水平リサイクル価値向上サービスの展開(例: Be/ハイム)	緩和 緩和	廃棄 製造	—	生物 全て
			訴訟	中	<中長期> ・化石燃料使用企業に対する訴訟	<中長期> ・社会へのコミットによる顧客の信頼性確保により事業機会拡大	・長期ビジョンやGHG排出量削減の長期目標公開 ・各種社外評価での位置づけ向上	緩和 両方	全て 全て
移行	低炭素 製品への 需要	大	<短期> ・低炭素原材料の需要に伴う再認可コスト増加 <中長期> ・低炭素化へ向けた材料、プロセス転換	<短期> ・低炭素化に資するサステナビリティ貢献製品の事業機会拡大 <長期> ・資源循環設計製品の優先調達による事業拡大	・企画・開発、マーケティングにおけるLCA評価の活用(CFP、気候変動以外の環境影響) ・「自然に学ぶ」技術の活用と研究者助成の継続 ・工場における電力の再生エネルギー化 ・工場排出廃棄物の削減とマテリアルへの再資源化加速 ・バイオ由来原料による製品開発 ・再生材原料活用の製品開発およびその採用の強化	緩和 緩和	全て 製造	— —	全て —
	脱炭素 技術の 開発	大	<中長期> ・脱炭素技術の導入遅れによる機会損失	<中長期> ・自社製品の脱炭素化による事業機会拡大 ・脱炭素技術を活用した新ビジネスの創出	・業界・異業種連携でのCCU技術の開発(例: アルセロール・ミタル社連携)	緩和	廃棄	—	—

物理	急性	慢性	影響	対応	気候変動	資源循環	水リスク	生物多様性
台風・豪雨・干ばつ	大	大	<短期> ・工場の稼働停止など被害増加と売上減少 ・冠水・洪水対策コストの増加 ・サプライチェーン断断により売上減少 <中長期> ・被災対応製品の需要増加 ・被災対応製品の需要増加	<短期> ・インフラ強化ニーズ拡大 ・リスク高エリアでの対応製品の売上増加 ・災害時に備える設備のニーズ拡大 ・インフラ事業における新興国エリアでの事業拡大 ・災害対応製品の開発(例:飲料水貯留システム) ・適応製品開発のための社内職員の仕組み、タスクフォース展開	適応	—	—	—
	大	大	<短期> ・インフラ強化ニーズ拡大 ・リスク高エリアでの対応製品の売上増加 ・災害時に備える設備のニーズ拡大 ・インフラ事業における新興国エリアでの事業拡大 ・災害対応製品の開発(例:飲料水貯留システム) ・適応製品開発のための社内職員の仕組み、タスクフォース展開	<短期> ・インフラ強化ニーズ拡大 ・リスク高エリアでの対応製品の売上増加 ・災害時に備える設備のニーズ拡大 ・インフラ事業における新興国エリアでの事業拡大 ・災害対応製品の開発(例:飲料水貯留システム) ・適応製品開発のための社内職員の仕組み、タスクフォース展開	適応	—	—	—
降水パターンの変化	中	中	<短期> ・サプライチェーン再構築コスト増加 <中長期> ・熱中症・脱水症起因の疾病の増加 ・冷房コストの増加	<短期> ・断熱・遮熱効果を有する製品の売上拡大 <中長期> ・治療に寄与する医薬品、疾病検査薬のニーズ拡大	適応	—	—	—
	中	中	<短期> ・断熱・遮熱効果を有する製品の売上拡大 <中長期> ・治療に寄与する医薬品、疾病検査薬のニーズ拡大	<短期> ・断熱・遮熱効果を有する製品の売上拡大 <中長期> ・治療に寄与する医薬品、疾病検査薬のニーズ拡大	適応	—	—	—

自社経営のリスク対策だけでなく、事業としてのチャンスを検討する
気候変動による損害と損失リスクを見積もり、企業としての優先順位を判断

気候変動の物理リスクから、水リスクを抽出しLEAP分析にもとづきPDCAの実践



ビジネス（製品）のグローバル展開とサプライチェーンについてもロケーションを確認することで地域に応じたチャンスを見極めが可能

どんな損失と損害の軽減ができるか？

事業領域	住・社会のインフラ創造	アドバンストライフライン	イノベティブモビリティ	ケミカルソリューション
解決したい社会課題	レジデンシャル ひとびとの安心・安全、快適な暮らしを支える	グローバルにインフラ課題を解決し社会基盤を支える	社会・くらしを進化させる様々な機器の発展を支える	ライフサイエンス グローバルに健康・長寿社会を支える
現有事業	住宅カンパニー 住宅、リフォーム、不動産、まちづくり、住生活、海外	環境・ライフラインカンパニー パイプ・システムズ、住・インフラ複合材、インフラリニューアル	高機能プラスチックカンパニー エレクトロニクス、モビリティ、インダストリアル	メディカル事業(コーポレート) 検査、医療

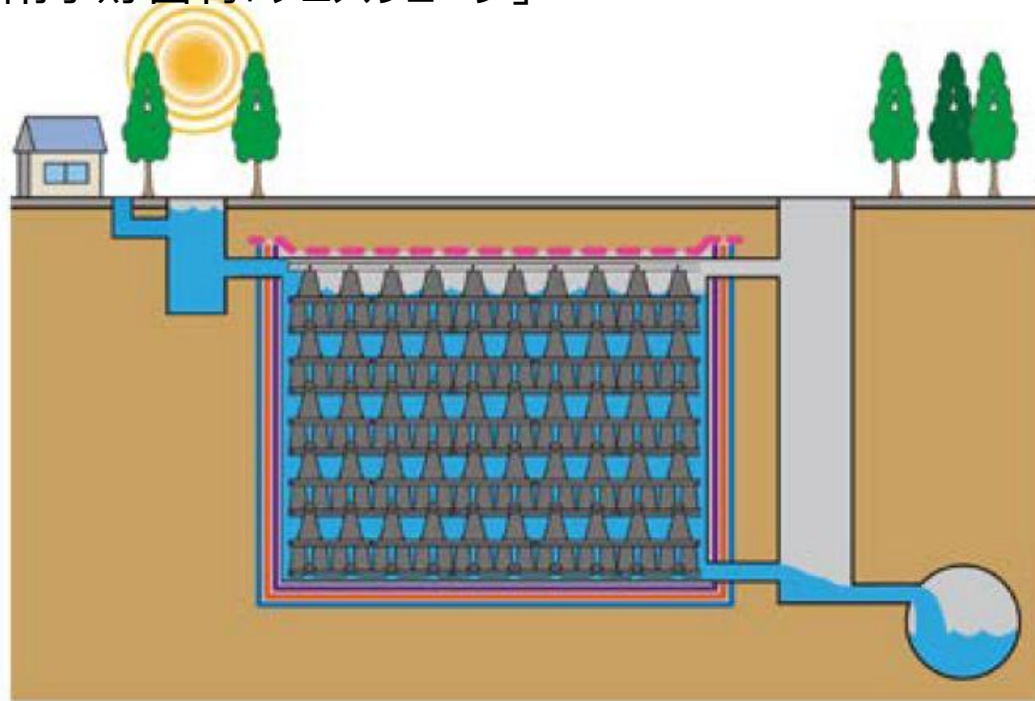
災害を縮小できる家
ライフラインが途絶えても
活用できるエネルギー
⇒蓄電池の利用
設置場所の検討

災害状況探査
被害シグナル発信
⇒ドローンへの素材提供
新しい発電機構、素材
の開発

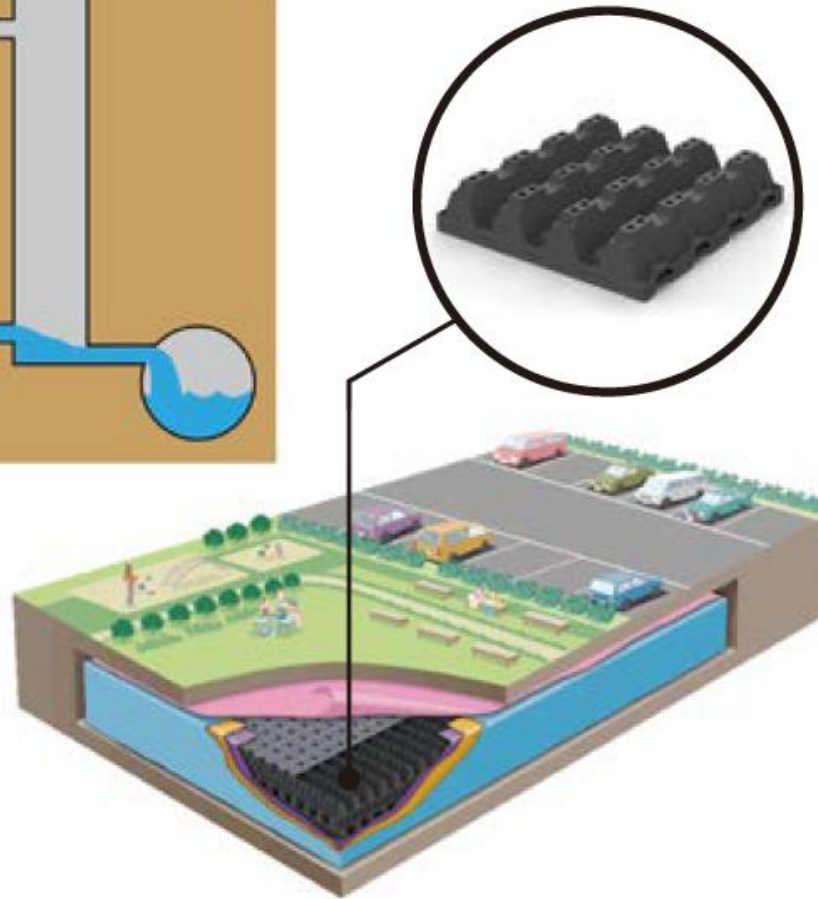
豪雨による河川の決壊や
床上浸水の抑制に効果的な
インフラの拡大
⇒RCP、雨水貯留材の拡販

災害医療
⇒水がない状況でも可能な
検査薬、
応急治療に役立つキット

雨水貯留材「クロスウェーブ」



空隙率が95%以上の
再生原料からなる
雨水貯留材



地下に埋設することで
豪雨の豪再の雨水の吸収能を
向上させ、河川の決壊や
床上浸水などによる損失と損害を
抑制可能なインフラ

製品の原料として再生原料を使用する
ことにより、低炭素にも寄与

耐荷重性を担保した製品設計により
雨水貯留機能強化しながら
地表面の土地を利用可能とし、
自然資本の豊富化にも寄与

設置場所を途上国とすると
途上国の災害耐性向上に寄与

サプライチェーンのあるエリアに設置すると
自社BCPにもなり得る

気候変動シナリオを活用した自社のリスク分析

Nature影響のLEAP分析を活用した
水リスクのロケーション分析をPDCA確認

事業毎の損失と損害に対してできることの確認



新しいイノベーション、サービスの展開（チャンス）へ

SEKISUI